

2019年1月24日

報道関係各位

株式会社 OKB総研

第21回「主婦の消費行動に関するアンケート」結果

OKBグループのシンクタンク株式会社 OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤義徳)は、
標題のアンケートの結果を取りまとめましたのでご紹介します。

要約

- 1. 主婦の景況感は、「(前年と比べ)悪くなった」2割、「変わらない」7割と厳しい。**
 - ・景況D.I. (「良くなった」の回答率 - 「悪くなった」の回答率)は 15.2。前回調査(2017年11月)から7.0ポイント低下した。
 - ・全ての年代で「良くなった」の回答率が低下した。また50歳代を除く全て年代で「悪くなった」の回答率が上昇し、特に「60歳代以上」で「悪くなった」の回答率が上昇した。
 - ・「専業主婦」で「悪くなった」の回答率が大きく上昇した。
- 2. 主婦の物価観は、「高くなった」が6割と、引き続き物価上昇の実感は強い。**
 - ・物価D.I. (物価が「高くなった」の回答率 - 物価が「安くなった」の回答率)は 62.8。前回調査から10.3ポイント上昇した。
 - ・天候不順に伴う野菜の高騰や電気料金の値上げなどを受け、6割超の主婦が物価の上昇を実感している結果となった。

【調査概要】

1. 調査期間：2018年11月12日～11月16日(年1回)
2. 調査方法：OKB大垣共立銀行本支店(東京・大阪を除く)に来訪した主婦(注)791名にアンケート用紙を配布・回収(無記名方式)
3. 有効回答者数：786名(有効回答率 99.4%)
4. 回答者属性：

年代	20歳代	7.7%
	30歳代	15.1%
	40歳代	28.7%
	50歳代	29.9%
	60歳以上	18.6%
住所	岐阜県	56.4%
	愛知県	39.8%
	三重県	2.0%
	滋賀県	1.8%
就業形態	専業主婦	13.3%
	正社員・公務員・自営業	43.1%
	パートタイマー	41.3%
	内職・その他	2.3%

5. 集計結果表記：数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

(注) 本調査における「主婦」とは、既婚の女性で子どもの有無や就業形態は問わない。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ
【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 間野・中澤 TEL：0584-74-2615】

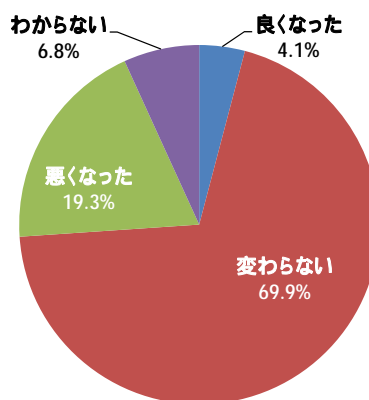
1. 主婦の景況感

「現在（2018年）の景気は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「良くなった」が全体の4.1%、「変わらない」が69.9%、「悪くなった」が19.3%となった（図表1）。

年代別にみると、全ての年代で「良くなった」が低下した。また、50歳代を除く全ての年代で「悪くなった」の回答率が上昇し、特に「60歳代以上」で「悪くなった」の回答率が上昇した。就業形態別では、「専業主婦」で「悪くなった」の回答率が大きく上昇した（図表2）。

景況D.I.（「良くなった」の回答率 - 「悪くなった」の回答率）は15.2。前回調査（2017年11月）

図表1：主婦の景況感（全体）

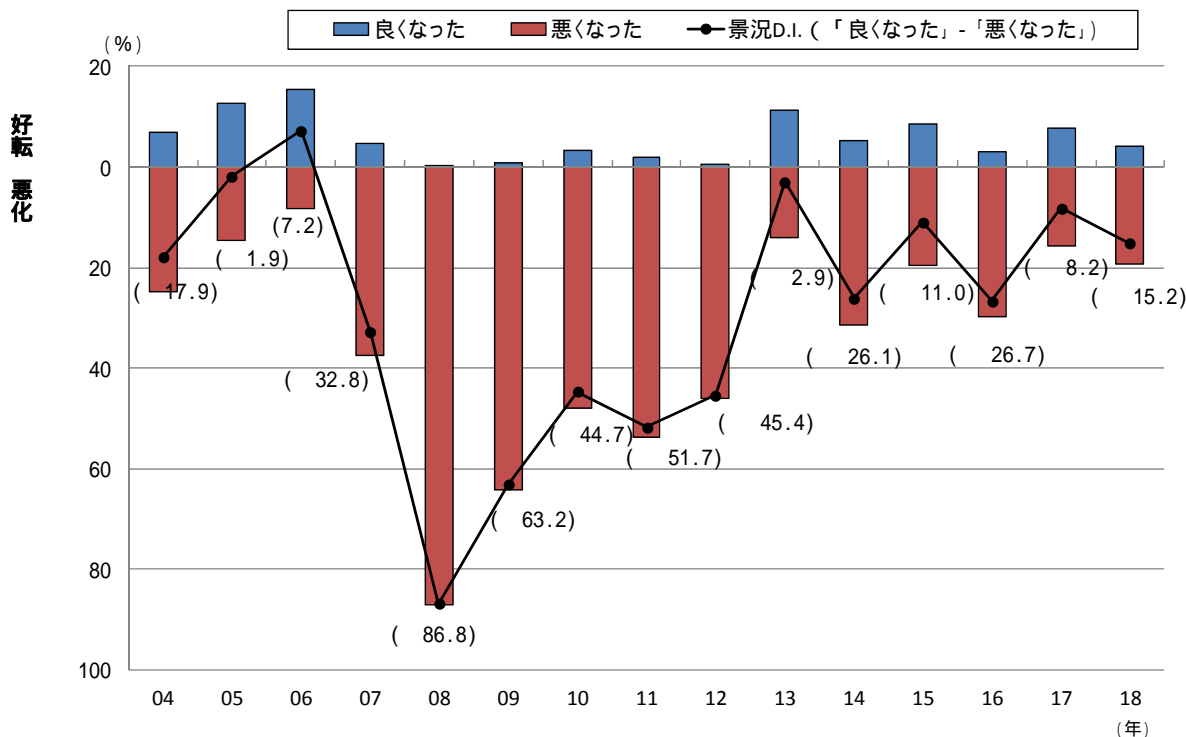


図表2 主婦の景況感（属性別）

	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
全体	4.1 (3.5)	69.9 (0.4)	19.3 (3.5)	6.8 (0.4)
20歳代	8.3 (7.5)	65.0 (1.8)	15.0 (8.0)	11.7 (2.3)
30歳代	6.8 (2.7)	67.8 (8.9)	13.6 (5.0)	11.9 (6.7)
40歳代	2.7 (1.2)	75.6 (3.2)	15.1 (3.0)	6.7 (1.5)
50歳代	3.8 (4.1)	75.2 (9.6)	17.9 (3.0)	3.0 (2.5)
60歳以上	2.7 (5.4)	56.2 (4.8)	34.2 (11.4)	6.8 (1.3)
岐阜県	3.4 (2.8)	66.3 (2.6)	22.4 (4.8)	7.9 (0.6)
愛知県	5.1 (4.8)	75.3 (3.6)	14.1 (0.4)	5.4 (0.6)
専業主婦	1.9 (5.9)	63.5 (2.2)	27.9 (12.2)	6.7 (4.1)
正社員等	6.2 (4.3)	69.7 (1.1)	16.6 (1.3)	7.4 (1.7)
パート	2.8 (1.9)	72.1 (0.9)	19.2 (2.9)	5.9 (0.1)

(注)括弧内は、前年差を示す。

図表3 主婦の景況D.I.の推移



2. 主婦の物価観

「現在（2018年）の物価は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「高くなった」が全体の63.8%、「変わらない」が32.0%、「安くなった」が1.0%となった（図表4）。

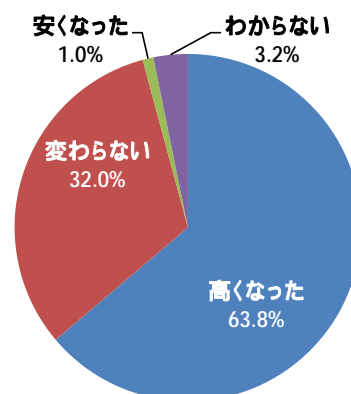
年代・住所・就業形態別にみると、全ての属性において「高くなった」の回答率が上昇し「変わらない」が低下した（図表5）。

物価D.I.（「高くなった」の回答率 - 「安くなった」の回答率）は62.8。前回調査から10.3ポイント上昇した（図表6）。

天候不順に伴う野菜の高騰や電気料の値上げなどを受け、6割超の主婦が物価の上昇を実感して

いる結果となった。

図表4：主婦の物価観（全体）

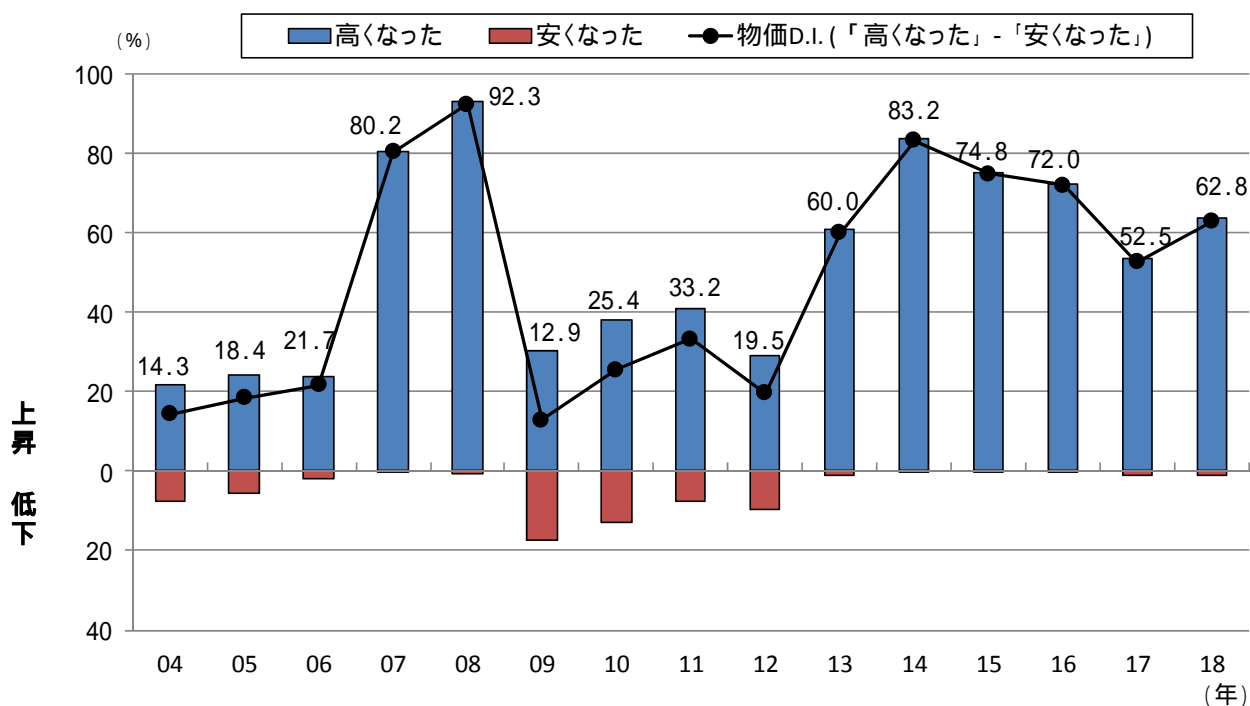


図表5 主婦の物価観（属性別）

	高くなった	変わらない	安くなった	わからない
全体	63.8 (10.4)	32.0 (10.1)	1.0 (0.1)	3.2 (0.4)
20歳代	76.7 (27.6)	16.7 (23.7)	1.7 (1.7)	5.0 (5.5)
30歳代	60.2 (9.3)	33.9 (11.8)	0.0 (0.9)	5.9 (3.3)
40歳代	64.9 (5.6)	31.6 (4.8)	0.9 (0.0)	2.7 (0.8)
50歳代	61.5 (11.5)	35.0 (11.8)	0.9 (0.1)	2.6 (0.2)
60歳以上	63.0 (9.3)	32.9 (7.8)	2.1 (0.5)	2.1 (2.0)
岐阜県	63.6 (12.6)	32.1 (11.8)	1.4 (0.0)	2.9 (0.8)
愛知県	64.4 (8.7)	31.1 (9.3)	0.6 (0.3)	3.8 (0.3)
専業主婦	58.7 (9.7)	37.5 (8.6)	0.0 (1.0)	3.8 (0.1)
正社員等	63.8 (7.9)	32.3 (7.3)	0.6 (0.6)	3.3 (0.0)
パート	66.3 (15.5)	29.4 (16.1)	1.5 (0.9)	2.8 (0.3)

(注)括弧内は、前年差を示す。

図表6 主婦の物価D.I.の推移



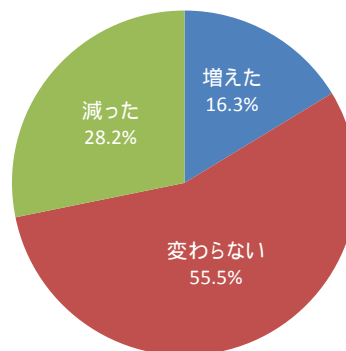
3. 家計の収支動向

(1) 家計の収入

「2018年の家計収入は、1年前と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の16.3%、「変わらない」が55.5%、「減った」が28.2%となった。(図表7)

年代・住所・就業形態別でみると、全ての属性で「増えた」の回答率が低下した。特に「専業主婦」では、前年と比べ「増えた」が8.0%減少し、「減った」が7.1%増加した(図表8)。

図表7：家計の収入(全体)



図表8 家計収入(属性別) (%)

	増えた	変わらない	減った
全体	16.3 (4.0)	55.5 (0.3)	28.2 (4.3)
20歳代	26.7 (7.2)	58.3 (8.3)	15.0 (1.1)
30歳代	31.4 (7.4)	47.5 (5.9)	21.2 (13.4)
40歳代	16.9 (4.8)	60.0 (0.4)	23.1 (4.4)
50歳代	9.8 (2.5)	63.2 (7.1)	26.9 (4.7)
60歳以上	9.0 (1.5)	41.4 (11.8)	49.7 (13.4)
岐阜県	15.4 (2.7)	53.3 (4.3)	31.3 (7.0)
愛知県	17.0 (5.9)	58.7 (5.4)	24.4 (0.6)
専業主婦	10.6 (8.0)	51.0 (1.0)	38.5 (7.1)
正社員等	19.0 (5.3)	56.8 (0.3)	24.1 (4.9)
パート	15.5 (1.1)	57.0 (0.4)	27.6 (1.6)

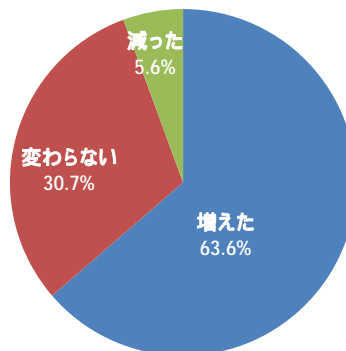
(注)括弧内は、前年差を示す。

(2) 家計の支出

「2018年の家計支出は、1年前と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の63.6%、「変わらない」が30.7%、「減った」が5.6%となった(図表9)。

発電用燃料価格の上昇に伴い、電気料が大幅に上昇していることが要因の一つではないかと考える。

図表9：家計の支出(全体)



図表10 家計支出(属性別) (%)

	増えた	変わらない	減った
全体	63.6 (1.5)	30.7 (1.4)	5.6 (0.2)
20歳代	70.0 (3.3)	26.7 (3.1)	3.3 (0.2)
30歳代	66.9 (2.9)	30.5 (4.6)	2.5 (1.8)
40歳代	69.2 (4.0)	27.7 (5.2)	3.1 (1.2)
50歳代	55.6 (5.0)	33.8 (6.8)	10.7 (1.9)
60歳以上	62.3 (6.7)	32.9 (6.6)	4.8 (0.0)
岐阜県	64.5 (4.3)	31.0 (2.0)	4.5 (2.4)
愛知県	62.7 (1.0)	30.2 (1.3)	7.1 (2.3)
専業主婦	55.8 (3.0)	35.6 (2.3)	8.7 (0.9)
正社員等	61.7 (2.6)	33.5 (3.2)	4.7 (0.7)
パート	67.4 (7.8)	26.7 (7.8)	5.9 (0.1)

(注)括弧内は、前年差を示す。

(3) 支出が増えた費目

「2018年の家計支出を考えたとき、1年前より支出が増えた費目は何ですか(あてはまるもの全て選択)」と尋ねたところ、「食費」が46.7%でトップであった。昨年同様、今年も夏から秋にかけ台風が相次いで上陸し、野菜などの食材価格が高騰したことが影響しているのではないかと考える。2位は「光熱・水道費」で、前年より6.3%上昇し27.9%であった。発電用燃料価格の上昇に伴い、直近の1年間で電気料が上昇していることが要因であると考え。なお、2011年から7年連続で3位以内に入っていた「交通・通信費」は、前年より8.1%低下し24.0%で4位であった(図表11)。

年代別にみると、「教育費」がトップであった40歳代を除き、全ての年代で「食費」がトップであった。「光熱・水道費」は全ての年代で回答割合が上昇した。特に30歳代は18.9%と大幅に上昇した。一方、全体で4位であった「交通・通信費」は全年代で回答割合が低下し、特に20歳代では16.1%も低下する結果となった(図表12)。

図表11 支出が増えた費目の推移(上位5費目)

複数回答 (%)

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
	1位	教育費	家電・家具 購入費	食費	交通・通信費	食費	食費	食費	食費	食費	食費
2位	交通・通信費	教育費	教育費	教育費	光熱・水道費	光熱・水道費	交通・通信費	教育費	交通・通信費	光熱・水道費	(27.9)
3位	食費	食費	交通・通信費	食費	交通・通信費	交通・通信費	教育費	交通・通信費	教育費	教育費	(26.6)
4位	家電・家具 購入費	交通・通信費	家電・家具 購入費	光熱・水道費	教育費	教育費	光熱・水道費	光熱・水道費	光熱・水道費	交通・通信費	(24.0)
5位	保険医療費	光熱・水道費	光熱・水道費	家電・家具 購入費	保険医療費	衣料費	家電・家具 購入費	レジャー費	保険医療費	交際費	(21.9)
										増えた費目 なし	(3.8)

図表12 支出が増えた費目(上位5費目、属性別)

複数回答 (%)

	食費		光熱・水道費		教育費		交通・通信費		交際費		増えた費目なし
	全体	46.7	(1.2)	27.9	(6.3)	26.6	(1.6)	24.0	(8.1)	21.9	
20歳代	56.7	(3.1)	33.3	(1.2)	6.7	(2.2)	25.0	(16.1)	25.0	(3.6)	3.3 (新設)
30歳代	62.9	(1.2)	30.2	(18.9)	39.7	(2.0)	19.0	(1.9)	12.9	(3.3)	2.6 (新設)
40歳代	51.8	(2.7)	24.3	(4.1)	52.7	(5.6)	24.3	(7.7)	13.1	(6.1)	1.4 (新設)
50歳代	34.1	(0.5)	28.8	(4.9)	13.5	(2.8)	28.8	(9.5)	24.9	(0.6)	4.4 (新設)
60歳以上	41.8	(0.8)	27.7	(2.9)	4.3	(2.6)	19.1	(7.4)	36.9	(2.4)	7.8 (新設)
岐阜県	45.8	(0.8)	31.0	(8.4)	24.8	(3.5)	26.2	(5.4)	20.4	(2.2)	4.4 (新設)
愛知県	49.0	(3.7)	22.7	(2.8)	28.6	(0.6)	21.4	(10.5)	24.4	(3.6)	2.9 (新設)
専業主婦	58.3	(8.8)	33.0	(5.2)	26.2	(10.7)	23.3	(8.7)	24.3	(2.7)	4.9 (新設)
正社員等	46.5	(0.5)	25.1	(7.2)	20.8	(4.8)	20.8	(10.7)	20.2	(1.4)	4.5 (新設)
パート	43.4	(0.4)	28.5	(5.6)	32.9	(0.5)	27.2	(6.2)	23.1	(7.5)	2.5 (新設)

(注1) 網掛けは、各属性における最も回答率の高い費目。

(注2) 括弧内は、前年差を示す。

(4) 支出が減った費目

「2018年の家計支出を考えたとき、1年前より支出が減った費目は何ですか(あてはまるもの全て選択)」と尋ねたところ、トップは「レジャー費」、2位は「衣料費」、3位は「外食費」で昨年と同じ順位であった(図表13)。

ところで今回の調査から回答項目に「支出が減った費目はない」を追加したところ、この項目の回答割合が最も高かった。3割強の主婦はどの費目も減っていないことがわかった(図表14)。

図表13 支出が減った費目の推移(上位5費目)

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	複数回答 (%)	
1位	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費 (22.3)
2位	外食費	外食費	外食費	外食費	外食費	外食費	外食費	衣料費	衣料費	衣料費	衣料費 (18.3)
3位	衣料費	衣料費	衣料費	衣料費	衣料費	衣料費	衣料費	外食費	外食費	外食費	外食費 (16.2)
4位	食費	食費	光熱・水道費	家電・家具 購入費	家電・家具 購入費	家電・家具 購入費	家電・家具 購入費	家電・家具 購入費	家電・家具 購入費	食費	食費 (8.7)
5位	理容 ・美容費	理容 ・美容費	食費	食費	理容 ・美容費	教養娯楽費	理容 ・美容費	食費	食費	理容 ・美容費	理容 ・美容費 (7.2)
											減った費目 なし (31.9)

図表14 支出が減った費目(上位5費目、属性別)

	レジャー費	衣料費	外食費	食費	理容・美容費	複数回答 (%)
全体	22.3 (9.2)	18.3 (8.4)	16.2 (4.0)	8.7 (3.3)	8.2 (0.8)	31.9 (新設)
20歳代	19.0 (9.0)	22.4 (9.6)	15.5 (2.5)	10.3 (4.3)	10.3 (1.7)	24.1 (新設)
30歳代	15.2 (8.1)	9.5 (10.5)	17.1 (0.4)	1.0 (3.4)	12.4 (0.9)	38.1 (新設)
40歳代	25.4 (17.5)	15.0 (3.5)	15.0 (7.8)	4.2 (2.7)	6.6 (2.9)	37.6 (新設)
50歳代	18.7 (8.8)	20.4 (9.5)	13.8 (5.6)	14.7 (3.3)	6.7 (1.4)	30.7 (新設)
60歳以上	30.4 (2.7)	25.2 (14.2)	21.5 (0.2)	11.1 (8.0)	8.9 (4.6)	23.7 (新設)
岐阜県	24.2 (8.4)	18.9 (6.0)	15.8 (6.5)	8.6 (4.8)	8.9 (0.5)	31.3 (新設)
愛知県	19.6 (9.4)	18.2 (9.2)	17.9 (0.1)	8.6 (0.7)	6.5 (2.8)	33.0 (新設)
専業主婦	25.0 (12.2)	29.2 (3.6)	17.7 (4.1)	6.3 (1.4)	13.5 (2.0)	26.0 (新設)
正社員等	19.8 (6.8)	17.0 (10.0)	14.8 (6.4)	8.8 (5.5)	6.6 (1.1)	33.0 (新設)
パート	24.3 (8.6)	15.8 (9.8)	15.8 (3.7)	9.2 (2.7)	7.6 (2.1)	33.6 (新設)

(注1) 網掛けは、各属性における最も回答率の高い費目。

(注2) 括弧内は、前年差を示す。

4. 主婦の買物場所

「お買い物場所 11 業態における利用頻度をお答え下さい」とお尋ねしたところ、主婦が最もよく利用する店は従来通り「スーパー」で、およそ2.6日に1度(年間143.1回)の頻度で利用されていた。次に、「コンビニエンスストア」で5.1日に1度、「ドラッグストア」で6.6日に1度となっている(図表17)。特に「ドラッグストア」の年間平均利用回数は55.2回で前回調査から4.5回増加し、週一回以上は利用している計算となっている。経済産業省の「商業動態統計月報(平成30年10月分)」によると、愛知県と岐阜県で営業するドラッグストアの店舗数は、平成29年10月の1,286店舗から平成30年10月の1,359店舗へと73店舗増加している。こうした店舗数の増加に加え、日用品や食料品まで購入できる利便性の良さから、スーパーの代替としてドラッグストアの利用が進んでいるのではないかと考える。

図表15 買物場所の年間平均利用回数

(単位:「利用頻度」を除く:回/年)

	スーパー	コンビニエンスストア	ドラッグストア	複合型SC	ディスカウントストア	100円ショップ	通信販売	ホームセンター	商店街	百貨店	家電量販店
全体	143.1 (1.1)	71.7 (1.5)	55.2 (4.5)	22.6 (0.3)	22.4 (2.5)	16.7 (0.1)	14.3 (2.7)	14.0 (2.3)	8.3 (2.1)	6.6 (0.7)	3.8 (0.1)
20歳代	104.5 (4.5)	105.8 (17.5)	64.3 (15.4)	21.6 (1.8)	31.4 (9.2)	15.0 (5.2)	16.8 (2.1)	8.5 (2.3)	1.7 (0.5)	6.7 (1.5)	3.9 (0.9)
30歳代	126.3 (6.4)	83.9 (3.0)	50.8 (0.6)	29.8 (1.3)	23.6 (3.1)	20.8 (1.2)	20.5 (1.7)	9.5 (3.9)	1.0 (0.3)	4.9 (0.9)	3.4 (0.4)
40歳代	145.3 (13.8)	74.2 (5.0)	62.7 (2.8)	20.6 (2.1)	27.4 (6.2)	18.7 (1.7)	16.2 (4.2)	13.5 (0.3)	7.7 (5.4)	5.3 (0.5)	4.0 (0.4)
50歳代	154.5 (10.8)	55.7 (10.8)	52.1 (7.2)	23.2 (0.0)	18.9 (0.9)	14.2 (0.5)	11.2 (3.8)	15.4 (3.2)	7.2 (0.1)	7.6 (2.1)	3.8 (0.4)
60歳以上	151.8 (11.0)	70.1 (14.4)	47.1 (2.5)	19.6 (4.2)	16.0 (2.2)	14.8 (0.3)	9.1 (1.2)	19.0 (3.6)	20.1 (0.0)	8.8 (0.5)	3.9 (2.1)
岐阜県	138.6 (0.4)	68.8 (3.5)	60.6 (6.0)	21.6 (1.3)	28.7 (3.7)	16.6 (1.7)	12.9 (3.2)	15.7 (2.1)	6.9 (1.1)	4.7 (0.3)	3.7 (0.6)
愛知県	150.1 (1.3)	77.3 (1.2)	49.3 (3.7)	24.7 (1.3)	14.7 (1.9)	17.2 (1.8)	15.5 (1.5)	11.7 (2.4)	10.7 (6.8)	9.6 (1.4)	3.8 (0.5)
専業主婦	138.1 (12.6)	58.2 (3.2)	56.7 (5.4)	25.1 (13.3)	19.4 (1.3)	17.8 (1.9)	13.3 (1.0)	16.5 (0.7)	10.5 (3.6)	7.8 (0.7)	3.6 (0.4)
正社員等	132.9 (5.9)	86.8 (0.9)	52.9 (5.4)	24.1 (4.2)	21.3 (6.8)	14.7 (1.7)	15.9 (2.2)	13.6 (1.2)	7.7 (0.3)	7.2 (0.5)	3.7 (0.8)
パート	154.8 (4.6)	61.7 (4.0)	56.9 (3.6)	20.3 (2.5)	23.9 (1.4)	18.6 (1.3)	12.1 (3.1)	13.9 (3.6)	8.0 (3.8)	5.5 (0.7)	3.7 (0.0)
利用頻度 (注1)	2.6 (0.0)	5.1 (0.1)	6.6 (0.6)	16.1 (0.2)	16.3 (2.1)	21.8 (0.2)	25.5 (6.0)	26.1 (3.6)	44.1 (14.5)	55.3 (6.3)	96.8 (2.2)

(注1)「利用頻度」とは、「全体」において、それぞれの業態に訪れる間隔を日数単位で表したものを示す。スーパーであれば2.6日に1回利用するとの意味。

(注2)括弧内の数字は、前年利用回数および前年利用頻度との差を示す。

以上